

豊潤の里 だより

環境シンポジウム

「ストップ！産廃汚染」に参加して

～ 本郷処分場から学ぶ ～

集会決議

本日、私たちは、広島県三原市本郷町にある産業廃棄物の処分場で発生している深刻な環境汚染を踏まえて、環境シンポジウム「ストップ！産廃汚染」を開催し、かつての清澄で安全な水を取り戻し、安心して暮らせる環境を取り戻す方策を議論した。

広島県知事の設置審査が杜撰と裁判所に断罪され、許可が取り消されたにもかかわらず、不当な控訴により業者が操業を続け、垂れ流された污水からは基準を超過する鉛なども検出されている。水道水源でもある下流域では農業利水ができず、耕作を諦めざるをえない方も出ている。

その原因は、行政や事業者の問題に止まらず、廃棄物処理法そのものにある。廃プラスチック、建設廃材など安定型 5 品目とされる産廃は、水質汚染を起こさないとされ、素掘りの場所に排水処理不要で埋め立て処理することが認められている。この安定型処分場は、全国各地で深刻な環境汚染を引き起こし、日弁連は2007年に廃止するよう意見書を出した。しかし、安上がりの処分場を求める業界に配慮したのか、中央環境審議会は2010年に問題を先送りする報告書を出している。

今、全国で有機フッ素化合物(PFAS)による環境汚染が明らかになっている。PFASは安定型 5 品目にも含まれ、安定型処分場に持ち込まれて処分場が汚染源となっている。2011年の東電福島原発事故で環境中に放出された放射能は、廃棄物や除染土の中に残り続け、不安を与え続けている。これらは、安定型処分場の唯一の環境対策である、搬入時の展開検査による目視では確認することができず、「安定型 5 品目は汚染を起こさない」という法の前提は崩れ去っている。

本郷処分場が物語っているのは、まさにその現実であり、全国から注目されている。廃棄物処理法は、香川県豊島での大規模不法投棄事件などに学び、何度も改正強化されてきた。

ここに参集した私たちは、本郷処分場を安定型処分場の在り方を問う、廃棄物行政の転換点と位置づけ、広島県の姿勢を問うと同時に、安定型処分場の区分廃止、PFAS含有廃棄物を特定管理産業廃棄物(有害廃棄物)に位置付けるなど、国民の安全を守るための法改正を求めていくことを決議する。

2025年7月13日

環境シンポジウム「ストップ!産廃汚染」参加者一同

本郷町南方であった環境シンポジウムに参加しました。上記の決議文は、そこで採択されたものです。内容は盛り沢山でここで説明できませんが、身近にある「有機フッ素化合物(PFAS)」の問題から、福島原発事故によって生じた「放射能を含む廃棄物」が埋め立てゴミとして処理されている問題まで、法のもとで私たちの生活が脅かされていることを学びました。参加者が連帯して取り組むことを決議しました。

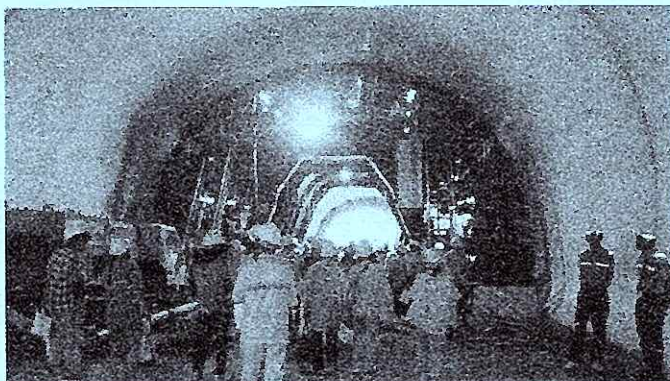
第37回市民スポーツ大会に参加



6月1日、市内32学区のチームが参加する東広島市民スポーツ大会陸上の部(9種目)が、東広島運動公園の陸上競技場などで開催されました。木谷チームの成績は22位(32チーム中)でした。

尾里瑞生選手団長は、「小規模小学校区のチームなので、これからも成績にこだわらず精一杯頑張り、楽しんでやっていきます」と話してくれました。

第2回木谷トンネル(仮称)工事見学会



現在工事中の国道185号安芸津バイパス木谷トンネル(仮称)の現場見学会が7月15日に行われ、地域の人61名が参加しました。同トンネルは今年1月に貫通し、完成に向け工事が進んでいます(施工:東急建設㈱)。

見学はコンクリート壁が仕上がった側から始まり、コンクリートを注入するために組まれた型枠を見ながら、型枠を組む前の防水シートが貼り付けられた状態の壁のある出入口近くまで進みました。全長は295mで歩いて5分かかりません。開通すれば車であつという間に通過できる長さのトンネルです。

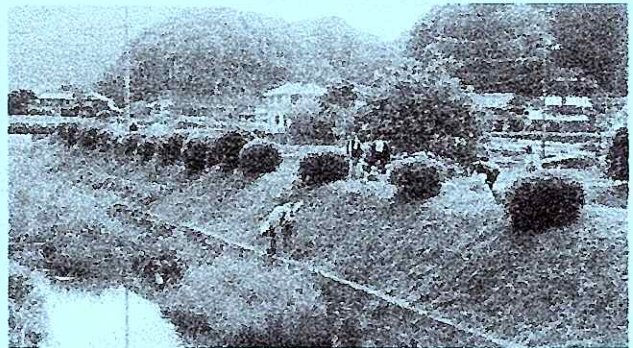
部会活動紹介

環境衛生部会



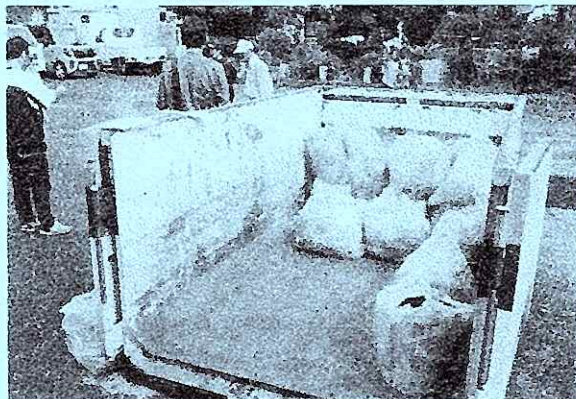
5/23 ホタル観賞会

子ども26名、保護者16名が参加。吉田直代さんから木谷の川にいるホタルの生態を教えてもらったあと、散歩しながらホタルの飛び交う初夏の光景を楽しみました。 <安芸津保全会下之谷集落・木谷地区公衆衛生推進委員会>



6/7 今年初めての郷川堤防草刈り活動

梅雨入りを間近に控えた木谷郷川の堤防。ときどき小雨が降る中を、よく伸びた草を11名の参加者で刈り、美観を維持しました。 <木谷地区公衆衛生推進委員会>



6/8 きれいなまちづくりキャンペーン

日頃はきれいに見える道端や水路でも、気を付けて探せば、捨てられている空き缶やビニール袋などが見つかります。当日は早朝から子供会の親子連れなど地域の人たち91名が、ゴミを拾いながら木谷小学校に集まりました。左の写真は拾ったゴミを袋に詰めて収集車に載せたものです。

教育文化部会



6/9 ホボロ島学習で木谷について探求

毎年、5年生が楽しみにしているこの校外学習。今年も事前に木谷の海に棲む生物や地質、ホボロ島の歴史を学んでその日を迎えました。地域としても増田典生さんと長尾准司さんが子どもたちを島に運び、古本敦子さんが講師を務めるなど、この学習をサポートしました。

また今回はホボロ島の特集を企画しているTSS(テレビ新広島)の取材も併せて行われました。事前学習でホボロ島の歴史を担当している植野洋文さんへのインタビューを中心に編集された番組が6月16日に放送されました。

体育振興部会+木谷地域まちづくり実行委員会



5/25 地域運動会で小学生と交流

これまで午前中は小学校の運動会、午後からは地域の運動会を行っていましたが、諸般の事情により今回から二つの運動会を午前中に済ませることになりました。

地域運動会も種目は減りましたが、参加した小学生にとっては、その地区の一員としての自覚を高めることができた催しといえるでしょう。

福祉生活部会



6/7 保育所で運動会

あいにくの雨模様のため、会場を遊戯室に移し、保護者と子どもたちだけが参加して行われました。木谷地区社協蛟龍が参加賞を提供しました。

＜木谷地区社協 蛟龍＞



6/26 保育所でカレークッキング

ベテラン主婦に教わりながら、11名のかわいい調理師が、ジャガイモ、ニンジン、玉ねぎを刻み、カレーライスづくりにとりくみました。＜木谷地区社協 蛟龍＞

木谷自治協議会にご寄付をいただきました

ご厚情ありがとうございました。

令和7年7月 南條 みどり 様（香典返し）

皆様からの温かいご寄付は、元気な木谷をつくるために活用させていただきます。

※ お問い合わせは、木谷自治協議会事務局（木谷地域センター内）までお願いいたします。

木谷の人口（住民基本台帳）	世帯数	人口	男	女
令和7年(2025)6月末現在	662	1370	669	701
令和6年(2024)6月末との比較	-14	-36	-15	-21